

富士山・富士宮口スキー

2008. 5. 17 (晴れ後曇り)

L 菊地、西村、白土、橋立、志満

今年は、残雪が多く通常の登山口は高い雪壁に阻まれ、ブル道から登りだす。6合目からは雪の上を行くが、雪はやや固めだ。すでにスキーやボードを担いだ多くの人達が山頂を目指している。今

回は5人+長野からの知人2人も加わり7名と大所帯で賑やかだ。7合・8合と順調に登って行く。下からも続々と人が上がって来るが、段々不吉な雲も沸き上がって来ている。

今日は不思議と風も殆どなく、9合目でも穏やかだが、9. 5合目を越えるといつも通りクラストが激しくなる。銀名水からスキーを担いで降りて来る人の姿もあり、ボーダーはエッジをガリガリ言わせながら降りて来る。

銀名水に到着する頃にはすっかりガ



スに包まれたが、脱落者なしで全員無事到着した。剣が峰は誰も行ききたがないので、そのまま下山する事にしたが、別パーティで来ていた仲間達は最近降り積もった新雪でまっさらなお釜へと滑り込んで行った。さて我々も銀名水からお楽しみ滑走の始まり。しかしまだ雪は硬くエッジが余り効かないが、9. 5合目からは軟らかいザラメとなり、思い思いに滑りを楽しむ。

8合目下のブル道で隣の雪渓に乗り移るのだが、視界が悪く通り過ぎると

後が面倒だ。ブル道はなんとか雪が付いていてスキーを履いたままトラバース出来た。晴れていれば伊豆半島や房総半島が見渡せ素晴らしい眺めなのだが、その後もガスは勢いを増すばかりで、暫く立ち止まってガスが薄くなったすきに滑るといった状態が続く。下部



で更に隣へ隣へと雪渓を乗り移りながら滑走を楽しむ。視界は悪いが、割と雪の上を行く事が出来たが、下の方は雪が一部途切れたり細かい石で汚れていたりで板を履いたり脱いだりが面倒になり担いで歩いた。

コースタイム：

富士宮5合目6：50～8合目9：55・10：20～9合目10：50～

銀名水12：30・13：20～8合目14：30～5合目15：35
地形図：富士山

